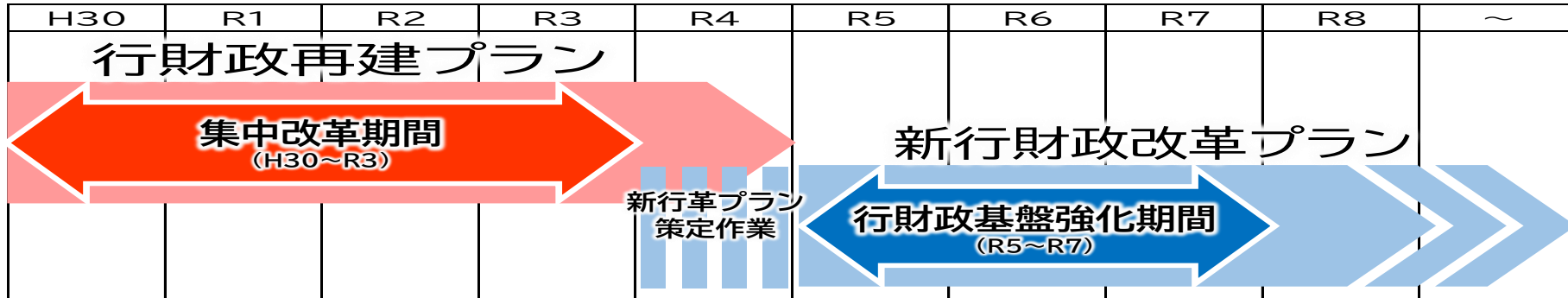


改革の進め方

補足資料①

(ア) 計画期間

- ▶ 令和5年度から令和7年度までを「行財政基盤強化期間」と定め、行財政基盤の強化に向けて集中的に取り組みます。ただし、行財政の構造的な変革の実現には継続的な取組が必要となることから、令和8年度以降も引き続き改革を進めます。



(イ) 目標

- 行財政の構造改革を進め、以下に示す「定性目標」と「定量目標」の達成を目指す

▶ 定性目標

将来にわたって質の高い市民サービスを提供し、市民生活を安定的に支え続けるため、行政の経営資源の最適化を図り、機能的で効率的な行政運営体制を構築する

▶ 定量目標

9億円以上の単年度の経常収支改善効果を生み出す

※ 定量的な目標の達成状況は、令和7年度に策定する財政計画における令和12年度時点の収支に基づき検証する。

※ 本市の令和元年度～令和3年度の経常収支比率の3ヶ年平均値が、府内市平均(政令市を除く)よりも約2%高いことから、経常収支比率2%に相当する9億円の経常収支改善額を目標として設定

(ウ) 進捗管理

- ▶ 新たに市長をトップとする「行財政改革推進本部」を設置し、全庁を挙げて行財政改革を推進する体制を構築します。
- ▶ 「新行財政改革プラン」は、行財政基盤強化期間の間、毎年追加の取組を加えて、バージョンアップを図っていきます。
- ▶ 「新行財政改革プラン」の進捗状況は、毎年公表します。